

# 北海道総合開発計画の中間点検について

## 第7期計画策定時の我が国をめぐる環境変化と国家的課題

- グローバル化の進展
- 地球環境問題
- 人口減少と急速な少子高齢化社会

### 地球環境時代を先導する 新たな北海道総合開発計画

平成20年7月4日閣議決定  
計画期間：平成20年度～  
おおむね平成29年度まで

#### 3つの戦略的目標

##### アジアに輝く北の拠点

～開かれた競争力ある北海道の実現

##### 森と水の豊かな北の大地

～持続可能で美しい北海道の実現

地域力ある  
北の広域分散型社会  
～多様で個性ある地域から成る北海道の実現

#### 戦略的目標を達成するための主要施策

グローバルな競争力ある自立  
的安定経済の実現  
(食、観光、成長産業)

地球環境時代を先導し自然と  
共生する持続可能な地域社会  
の形成

魅力と活力ある北国の地域づ  
くり・まちづくり

内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上

安全・安心な国土づくり

#### 計画の進め方

多様な連携・協働

新たな時代を見据えた投資の重点化

新たな北海道イニシアティブの発揮

#### 計画策定後の北海道開発を取り巻く状況の変化

H20.9 リーマンショックと  
その後の世界的金融危機

H22.6 新成長戦略の策定

H23.3.11 東日本大震災

#### 第7期計画の施策の点検

- ・計画の主要施策の進捗状況
- ・連携・協働による施策の実施状況
- ・戦略的目標の達成状況と課題

第7期計画より、  
「計画策定からおおむね  
5年後に計画の総合的な  
点検を行う」

→平成24年度に中間点検

#### 今後の推進方策の検討

- ・我が国が直面する課題の計画策定後の変化
- ・計画策定後の北海道開発を取り巻く状況の変化
- ・今後5年間の計画推進上の課題と対応方策

#### 検討体制など

国土審議会  
北海道開発分科会  
計画推進部会

平成24年7月頃 中間報告とりまとめ  
・第7期計画の進捗状況  
・今後の計画推進上の課題

(7月～9月にパブリックコメントを実施)

平成25年1月頃 最終報告とりまとめ

## 2. 第7期計画の推進上の課題と推進に当たっての今後の方向性

### (1) 今後5年間の第7期計画の推進上の課題

第7期計画の施策の点検結果及び北海道開発を巡る状況の変化を踏まえると、状況変化に対応した施策の充実・強化が必要ではあるものの、食、観光、環境といった北海道の持つ優位性を活かして我が国の課題の解決に貢献し、地域の活力ある発展を図るという第7期計画の目標は、引き続き有効である。

今後第7期計画を推進していくためには、これまでに整理した課題（戦略的目標の達成に向けた課題、連携・協働及び施策推進上の課題、北海道開発を巡る状況の変化と課題）に適切に対応していくことが必要である。

### (2) 第7期計画の推進の今後の方向性

引き続き第7期計画に基づく施策を推進していくが、厳しさを増す財政状況を踏まえると、更に各施策の重点化、効率化を図り、効果を早期に発現させていくことが重要である。このため、今後特に施策を充実・強化させるものとして大きく次の2つの施策に分類し、計画を効果的に推進していくことが必要となる。

#### ①更なる重点化を図る施策

第7期計画の施策の点検結果を踏まえ、食、観光などこれまで重点的に取り組んできた施策分野について、更に強みを活かしていくための施策に重点を置き、充実・強化していくことが必要ではないか。

例えば

- ・ 食料供給力の強化や、食関連産業の高付加価値化・競争力強化を図るための施策
- ・ 来道外国人観光客の拡大に向けた施策
- ・ 北海道の優位性（価値）を生み出している道内各地域の活性化を図るための施策など

#### ②強化を図る施策

東日本大震災を踏まえた強靱な国づくりへの貢献、災害リスクの高まり・顕在化、エネルギー政策の見直しなど、北海道開発を巡る社会経済情勢の変化に対応して、北海道の優れた資源・特性をより有効に活用していくため、関連する施策に対する取組を強化していくことが必要ではないか。

例えば、

- ・ 機能の多重化・分散化、代替・支援機能の整備といった強靱な国土づくり形成に向けた施策
- ・ 「災害に上限はない」という考え方に対応した防災対策の強化
- ・ 再生可能エネルギーの導入促進に向けた施策など